

東部地区社協だより

発行 佐倉東部地区社会福祉協議会
会長 真部 武美 事務局 月・金
9:00~13:00 (第1月曜休)
TEL:043-484-6033 FAX:043-486-2518
toubusakura@yahoo.co.jp

今年度の活動にあたって

会長 真部 武美



集いの場作り(佐倉東中学校)

東部地区の皆様、常日頃
から東部地区社会福祉協議
会の活動にご理解とご協力を
いただきお礼申し上げます。
少子高齢化社会に入り、東
部地区内でも一人暮らしの
方、高齢者夫婦で生活され
ている方が年々増加してい
ります。

安全・安心なまちづくりを

私たちは住民同士がお互い
様の精神で、助け合いのできる
安全で安心して暮らせる街づ
くりを目指して活動していき
たいと思います。

昨年度より「集いの場作り
事業として、誰もが気楽に参加
して語り合える場を各小学校区
で行ってきました。
今年度も引き続き参加者の
皆様のご協力で実施してまい
ります。

また、近年日本各地で災害が
多発しており、六月十八日の大
阪府北部を震源とする地震や
七月の西日本を中心とした記
録的な豪雨によって甚大な被
害があったことは記憶に新し
いものです。このように予測が
つかない災害は、常日頃からの
私たちの備えが大切です。
今私たちは何をしなくては
ならないのか、すぐに対策を考
えなくてはなりません。

今年度もたくさん課題が
あります。皆さんとともに安全
で安心して生活のできる東部
地区にしていきましょう。自ら
行動を起こしましょう。
皆さんの参加をお願いします。

平成30年(2018)年度「敬老の集い」ご案内

対象者: 今年度は75歳ではなく、76歳以上の方が対象になります。(招待状を郵送いたします。)

下記の日程で「敬老の集い」を開催いたします。

白銀小学校区	9月15日(土)	白銀小学校
佐倉東小学校区	9月29日(土)	佐倉東小学校
佐倉小学校区	10月20日(土)	佐倉小学校

※敬老会記念品について

75歳以上の方(88歳・90歳は除く)に配布していた1,000円の敬老商品券は廃止となりました。

下記の方には、昨年に引き続き、佐倉市内でご利用いただける【佐倉市敬老商品券】を配布します
対象者 88歳(昭和5年1月1日~昭和5年12月31日生まれの方) 10,000円
90歳(昭和3年1月1日~昭和3年12月31日生まれの方) 5,000円

第1回福祉委員会を開催しました

平成30年5月27日に佐倉東部地区社会福祉協議会の第1回福祉委員会を開催しました。

今年度の事業を始めるにあたり、今年度の福祉委員となった102名の方々への委嘱状を佐倉市社会福祉協議会の佐奈田会長から真部会長が代表して受け取りました。

引き続き、昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画・予算案及び理事者の承認をいただきました。

今年度の主な事業内容と予算は次のとおりとなりましたので、お知らせします。

★全体事業(予算額 26万円)

①集いの場作り事業

10月27日 佐倉東中学校(佐倉東小学校区)

12月 2日 中央公民館(佐倉小学校区)

未定 白銀小学校区

②赤い羽根共同募金 10月1日

③ボランティア・市民活動フェスタ 11月25日

④歳末助け合い募金 12月1日

⑤福祉懇談会 12月16日

⑥研修 8月、3月



集いの場作り(ミレニアムセンター)

★地域福祉事業(予算額 55万円)

①夜間パトロール 毎月1回

②あいさつ運動 通年

③佐倉東中学校森林整備事業 毎月第2、第4土曜日

★高齢者福祉事業(予算額 20万円)

①ひとり暮らし高齢者昼食会

7月 5日 七夕

12月25日 クリスマス

3月 3日 ひな祭り

②茶話やかサロン東部

10月 本町会館

11月 大蛇市営住宅集会所

1月 弥勒町会館

3月 未定



茶話やかサロン(藤沢市営住宅集会所)

★児童・障がい者福祉事業(予算額 15万5千円)

①子育てサロン「ひろば」 毎月第1水曜日(8月、1月はお休み)

②スタッフ会議 毎月第2火曜日

③ふれあいコンサート 9月29日(市立美術館)

④みんなで楽しむミニ運動会 2月23日(中央公民館)



子育てサロンひろば(七夕)

★広報事業(予算額 12万円)

広報紙の発行 年3回

平成 29 年度決算及び 30 年度予算書

収入		(単位 円)		
項目	29 予算額	29 決算額	30 予算額	
市社協支出金	1,520,000	1,446,326	1,450,000	
事業収入	10,000	81,700	120,000	
助成金	300,000	300,000	300,000	
寄付金	40,000	77,553	30,000	
雑収入	200	15	15	
合計	1,870,200	1,905,594	1,900,015	

支出		(単位 円)		
項目	29 予算額	29 決算額	30 予算額	
運営費	610,000	719,082	610,000	
事業費	1,255,000	1,185,665	1,285,000	
全体事業費	160,000	153,195	260,000	
市民フェスタ	10,000	3,260	10,000	
集いの場作り	150,000	149,935	150,000	
研修			100,000	
地域福祉費	500,000	501,289	550,000	
森林整備	400,000	392,785	450,000	
あいさつ運動	100,000	108,504	100,000	
高齢者福祉費	200,000	177,128	200,000	
昼食会	150,000	120,929	150,000	
サロン	50,000	56,199	50,000	
児童・障がい者福祉費	155,000	137,025	155,000	
ひろば等	50,000	36,744	50,000	
ふれあいコンサート	55,000	54,976	55,000	
ミニ運動会	50,000	45,305	50,000	
広報事業費	120,000	107,136	120,000	
研修事業費	120,000	109,892		
予備費	5,200	0	5,015	
合計	1,870,200	1,904,747	1,900,015	

平成30年度福祉委員会委員(102名)の紹介

平成30年5月27日現在(敬称略)

佐倉小学校区

地区名等	福祉委員	地区名等	福祉委員	地区名等	福祉委員
仲町第一	秋田 一孫	野狐台町	宮原 昭彦	弥勒町	實川 浩
仲町第二	加藤 健	栄町	越野 文雄	弥勒町	高橋 重雄
間之町	山田 健一	瓜作団地	坂宮 繁夫	栄町	草野 廣元
肴町	福田 政昭	鍋山	福田 敬子	栄町	布施 恵子
中尾余	佐藤 晴朗	京成サンコーポ佐倉	陶山 眞弘	瓜作団地	櫻井 進
最上町	河野 公子	エステプラザ京成佐倉駅前	新館 正義	ルネ京成佐倉グランレジデンス	松山 毅
裏新町第一	吉澤 鏡	ルネ京成佐倉グランレジデンス	篠原 貴子	民生・児童委員	大木 律子
裏新町第二	市田 和夫	佐倉ステーションゲートサウスウィング	吉竹 賢一	民生・児童委員	村上 美代子
袋町	吉岡 裕子	佐倉小学校長	佐久間 保男	民生・児童委員	佐久間 貴久
弥勒町	山崎 常雄	青少年育成住民会議	片岡 正臣	民生・児童委員	阿部 和子
弥勒町	平山 健一	間之町	秦野 隆治	民生・児童委員	神田 水保子
弥勒町	竹林 亮	最上町	境橋 千秋	民生・児童委員	松田 昭二
弥勒町	沼尻 潤	最上町	向後 兼一	民生・児童委員	伊藤 いく子

佐倉東小学校区

地区名等	福祉委員	地区名等	福祉委員	地区名等	福祉委員
本町第一	八木 育男	千成	峰村 愛子	千成	奥山 安朝
本町第二	澤村 真	千成	大久保 喬	千成	小玉 克哉
本町第三	平山 隆	千成	竹内 富藏	千成	田中 民枝
藤沢町	川上 辰子	さくらが丘	深水 洋生	民生・児童委員	深山 泰司
みどり野	黒田 雅之	さくらが丘	相澤 富美子	民生・児童委員	伊藤 哲男
みどり野	坂元 祥浩	ハイホーム佐倉	鳥塚 徹	民生・児童委員	内田 ひさ子
ハッピー佐倉マンション	砂川 文子	佐倉東小学校長	前林 典子	民生・児童委員	三谷 桂子
将門町	和氣 智記	本町第一	伊藤 千津子	民生・児童委員	福田 啓造
将門町	遠藤 喜誉	本町第二	押尾 和代	民生・児童委員	清宮 美智子
将門町	沼辺 誠	本町第二	加藤 たき子	民生・児童委員	松山 洋子
将門町	松浦 福雄	藤沢町	房田 正一	民生・児童委員	田中 百合江

白銀小学校区

地区名等	福祉委員	地区名等	福祉委員	地区名等	福祉委員
大蛇町	小林 昌和	白銀ニュータウン	黒田 康夫	堀ノ内団地	千葉 憲司
堀ノ内団地	池田 麻里子	白銀ニュータウン	久野 久美子	堀ノ内市営	畠田 クラウジエーヤ
堀ノ内市営	遠藤 久美子	白銀ニュータウン	眞鍋 喜代子	白銀ニュータウン	道脇 忠
堀ノ内市営	大川 悦司	市営大蛇住宅	満井 時子	白銀ニュータウン	山口 善久
堀ノ内第二	野崎 孝	白銀小学校長	工藤 富士雄	民生・児童委員	高中 聡
上代区	齋藤 和守	佐倉東中学校長	林田 祐一	民生・児童委員	白水 順子
高岡区	清宮 隆	さくら苑	高橋 薫	民生・児童委員	渡部 昭雄
高岡区	押尾 敏夫	大蛇町	小林 恭子	民生・児童委員	柳生 美樹夫
白銀ニュータウン	高橋 茂愛	大蛇町	眞部 武美	民生・児童委員	吉崎 亮子
白銀ニュータウン	菊間 英男	堀ノ内団地	今村 迪子		

編集後記

7月に入って西日本豪雨の後、命にかかわる猛暑が続いており、連日熱中症による救急搬送の報道がなされています。熱中症対策を心がけ、特に高齢者の方はくれぐれも体調管理に気を付けて夏を乗り切ってください。

